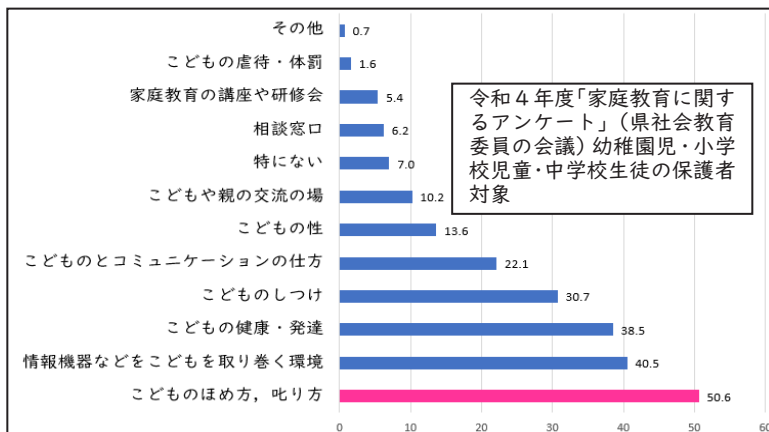


(4) ほめ方、叱り方

「ほめ方、叱り方」は、親（保護者）が家庭教育について知りたい情報のベスト3に入っています。

「なぜ、ほめるのか、叱るのか」という問いに対して、やはり「こどもの成長を促すため」という答えが多いのではないのでしょうか。

こどもを健やかな成長へ導くための「ほめ方、叱り方」には、以下のようなポイントがあります。



◇ ほめ方のポイント

- ① 何がよかったか、できたか、具体的にほめる。
- ② 結果だけでなく、その過程もほめる。
- ③ 率直な思いや感動を伝える。

ほめるときは・・・

- 「うれしい！」と、こどもが思っている瞬間にほめる。
- ※ 「ありがとう」「助かる」は最高のほめ言葉です。
- 何も言わずに、ぎゅーと抱きしめてほめる。

◇ 叱り方のポイント

- ① 人間性を否定しないように具体的に叱る。
- ② 一貫性をもって叱る。
- ③ 成長を促すために叱る。

叱るときは・・・

- 自尊心を傷つけるので、人前で叱らない。
- こどもの話をよく聞き、間違った「行い」には、何が良くなかったのか理由を伝える。

間違った言動は、しっかりと叱ろう！
叩く、殴る、食事を与えないなどの行為は、『虐待』になります。
(※ 児童虐待の防止等に関する法律、児童福祉法)

◇ 使ってみて！世代別学習プログラム

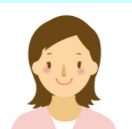
P T Aや家庭教育学級で、「こどものほめ方、叱り方」について、学習してみたいときは、子育て世代の学習プログラム『「ほめ方」・「叱り方」の極意とは？ ～子どもの個性理解～』があります。

右の二次元コードから、ワークシートと展開例をダウンロードして御活用ください。



「使ってみて！
世代別学習プログラム」

教えて！Q&A



こどものできないところが気になり、つい叱ることが多くなってきました。どうすればよいのでしょうか？

できることのハードルを少しさげてみてはどうでしょうか。また、できないことを一緒にしてあげることも大切です。こどもは、親（保護者）に助けを求めていることもあります。

